



# 雲青き

さいたま市立大成中学校 学校より

令和5年8月31日



## 部活動を通して学ぶこと

校長 浅野 克裕

今年も厳しい暑さが続いた夏休み、みなさんはどのように過ごされたでしょうか？

学校総合体育大会を勝ち抜き、県大会へ出場した男子バレーボール部、陸上競技部の個人種目で出場の県大会が県内会場で開催されました。

男子バレーボール部は、川口戸塚西中学校と対戦しました。(昨年度の県大会相手校も川口の中学校でした。)結果は、1セット目と2セット目を共に取られ、敗退してしまいました。特に2セット目は、19対19から競り合い、あと少しのところであつた流れをつくれず離されてしまいました。もちろん大成中のバレー部員は、全力で戦っていました。

陸上競技部2名は、それぞれ走高跳で出場しました。猛暑の中での競技となりましたが、3年男子の選手は、これまでの記録を伸ばし自己ベストを更新しました。3年女子の選手は、4位入賞となりましたが、試技回数の関係で関東大会(3位までが出場)を逃し、大変悔しい思いをしました。しかし、8月の記録会では、見事大会記録(1m58)を樹立し、気持ちを新たにジュニアオリンピック(日本陸連の全国大会)出場を目指して大会に出場しました。

また、美術部は美術部展へ、吹奏楽部は県のコンクールに参加し、それぞれ賞を受賞しました。

8月8日から10日までの3日間、ハンドボールの関東大会がさいたま市で開催(サイデン化学アリーナさいたま)されました。私は、県中体連の仕事の関係で連日大会会場にいましたが、試合を観る機会もありました。関東大会の選手は、技術力・持久力・判断力・敏捷性・連携プレイ・メンタルの強さなど、あげれば切りがないくらい様々な力を備えており、試合を通してレベルの高さを見せつけられ、そして、ハンドボールの面白さを味わわせてくれました。

そのような中、惜しくも全国大会を逃してしまった東京代表の男子選手(3年生)に声をかけ、ハンドボールのキャリアなどを聞くと、多くの生徒が小学校入学前後から地元のクラブチームで始めていて、中学卒業後も高校で続けることを希望しており、場合によっては、都外の強豪校に進学することも考えていると答えてくれました。終始笑顔で、はきはきと自信を持って答えてくれたことが印象深く、ハンドボールを通して、技術だけでなく、心や人としての生き方、真っ直ぐなものを見方なども身に付いているのだと感じました。私にとっても貴重な体験となりました。

◎左上はサンパラルの花、右はシンポジウムです。

### 《生徒の皆さんへ》

8月24日に、「さいたま市いじめ防止シンポジウム」に参加してきました。大成中学校を代表して、生徒会の生徒と担当の先生も参加しています。いじめは、人として絶対にやってはいけない行為です。「絶対にいじめは許されない」「いじめは、人としてやってはいけない恥ずかしい行いであること」です。

大成中学校も同じです。2学期も「やさしさとほほ笑みと思いやり」を持って生活しましょう。

### 《地域の皆さまへ》

2学期が始まりましたが、まだまだ熱中症予防に努めなければならない日々が続いております。どうぞ、2学期も本校の教育活動に対し、御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。また、生徒たちの頑張る姿を見守っていただけますよう、よろしくようお願い申し上げます。

